第３章　計画のめざす姿

１　基本理念

第２次計画においては「互いの顔が見える、地域でみまもり支え合えるまち」を基本理念とし、その実現に向けて取り組んできました。

本計画においては、第２次計画の基本理念を継承しつつ、地域共生社会の実現に向けて、「支え合う心を大切に自分らしく暮らせるみんなのまち」を基本理念とし、３つの基本方針のもと具体的な取り組みを行っていきます。

Support　支 え 合 う

Mind　心 を 大 切 に

Independent　自 分 ら し く

Live　暮 ら せ る

Everyone's town　みんなのまち

英語の頭文字をとって、本計画の愛称を「SMILE プラン」と定めます

この基本理念は、本計画策定にあたって実施した市民アンケート（p.22 参照）の中高生調査において、「今後、所沢市はどのようなまちになってほしいと思いますか。」の設問に対し、キャッチフレーズの形式で挙げていただいた回答をもとに検討したもので、将来を担う世代の視点を盛り込んだ理念としています。

また、第６次所沢市総合計画・前期基本計画との整合性を図り、所沢市の地域福祉のめざす姿を表現しています。

2　基本方針

●基本方針Ⅰ　地域福祉のコミュニティづくり（人づくり・地域づくり）

身近な地域で、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、自分の意欲や関心を活かして活動できる、地域福祉のコミュニティづくりを推進します。

そのため、地域づくりの基礎となる相互理解・共生の意識醸成に取り組むとともに、地域への関心を高め、愛着を育む地域活動の促進、市民一人ひとりが地域の人材として活躍するための支援に取り組みます。

また、誰もが身近な地域において居場所が確保され、地域とのつながりが得られるよう、利用しやすい居場所や拠点の活用に努めます。

●基本方針Ⅱ　身近な地域に広がるネットワークづくり（福祉サービス利用環境の整備）

身近な地域から広域にわたるまで、重層的なネットワークを構築し、必要とする人に支援が届く地域をめざします。

そのため、住民同士の見守り・支え合い活動への継続的な支援に加え、社会的孤立などの新たな課題に対応できる見守りの仕組みについて検討を進めます。

また、地域福祉に関わる各団体間の情報共有等による連携・ネットワーク構築とその強化に取り組むとともに、地域における様々な組織や団体がその意義や役割を果たし、継続的に活躍できるよう、活動支援に取り組みます。

●基本方針Ⅲ　安心・安全に地域で生活できる環境づくり（セーフティネットの整備）

全ての人が、地域で安心して生活できる環境をめざし、セーフティネットの整備に取り組みます。

そのため、権利擁護の推進を図るとともに、福祉の相談窓口[32]を中心として、生活困窮者自立支援事業[33]に基づく取り組み等、生活困難者等に対する支援に取り組みます。

また、災害時等において孤立を防ぎ、地域住民同士で手助けができる仕組みづくりや、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう住まいを取り巻く生活環境の向上に取り組みます。

第６次所沢市総合計画・前期基本計画の第１章第２節地域福祉の３つの基本方針は、第３次所沢市地域福祉計画の基本方針と同一とし、上位計画との整合性を図っています。

32 p.6 参照
33 社会福祉協議会に委託して実施。福祉の相談窓口において「あったかサポートセンター」として各種支援を行っている。